

# 公益財団法人金沢勤労者福祉サービスセンター 令和4年度事業計画書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

## 基本方針

勤労者及び事業主の健康でゆとりある生活の実現と、勤労者福祉の総合的な推進を図ることを目的として平成10年10月に当サービスセンターが設立され、関係各位のご支援、ご協力のもと、本年で25年目となりました。

今後とも事務局職員全員が一丸となって、各種事業をより一層充実させ、サービスの向上を図ってまいります。

さて、一昨年から引き続き新型コロナウイルスの感染拡大は、勤労者の余暇の充実に向けたサービス提供を根幹とする当センターの事業にも少なからず影響を与えています。このため現在事業の実施に当たって、昨年度に続き臨時の措置として可能な範囲で補助率のかさ上げや補助単価の引き上げ等を図ることで、利用の促進に努めているところであります。しかしながら、今後の感染の影響が見通せないことや、状況に応じた柔軟な事業展開を図る必要性にも鑑み、令和4年度も基本的にこれまでの事業の継続を前提に、必要な見直し、拡充を計画することとしています。

一方このような状況のなかでも、勤労者の福利厚生の実現は一層その重要性を増してきており、新規提携利用施設の拡充やく〜ぼんBOOKの別冊化などによって、会員への各種助成事業が幅広く利用されている基調には変化はないものと捉えています。

そこで、主催事業においては、これまで会員や登録家族の皆様方のニーズに沿った各種事業を行ってきたところでありますが、令和4年度には、健康増進のための教室として新たに「笑顔のチカラセミナー」を開催して拡充することとします。このほか好評な事業は継続するなどにより多種多様な事業展開を図ってまいります。

補助要望については、県内の近隣自治体との広域連携を強化することにより、多くの勤労者等に受益が及ぶよう、関係自治体に対し、補助金の要望を行ってきており、その結果、加賀市、小松市、能美市、白山市、野々市市、内灘町、津幡町、かほく市、金沢市の7市2町から補助金の交付を受けているところであります。昨年、5年の経過を受けて要望額の見直しを行ったところでありますが、残念ながら一部まだ要望額と隔たりのある市町もあり、引き続きご理解とご協力をいただけるよう働きかけてまいります。

会員の状況等につきましては、会員事業所の事業拡大に伴う入会者が増えたことの一方向、残念ながら事業所単位での退会も目立ったことから、令和3年度の年間平均見込会員数は、対前年度から若干減少して11,100人となる予定であります。令和4年度には、事務局職員はもとより、役員や関係団体等の協力を得て、新規加入事業所の開拓と新規加入会員の獲得に努め、年間平均会員数11,200人を見込んでおります。

また、引き続きデータ専門会社から取得したダイレクトメール用企業データを利用し、新規加入に向けた情報発信に取り組んでまいります。

事業の実施に当たっては、特に新型コロナウイルスの影響に注視しながら、必要に応じてサービス内容の見直しを図るなど、時宜に応じた機動的な事業運営に努めてまいります。また、公益法人として引き続き一般住民の皆様も参加可能な事業を実施し、各種事業を通じて地域における産業や社会の活性化に貢献してまいります。

## 事業計画

### 1 公益目的事業

(1) 生活安定及び財産形成に関する事業（定款第4条第1項第1号関係）

#### ①生活安定事業

会員の生活安定のため、教育費、住宅の建設又は購入等の生活資金の融資を斡旋します。

#### ②財産形成支援事業

ア 退職金制度の普及を図るため、中小企業退職金共済制度への加入を斡旋します。

イ 安定した老後生活を送るため、生活設計セミナー等の受講者に対し助成します。

助成項目	助成額（円）	見込件数（件）	対前年度比（件）
生活設計セミナー等受講	3,000	3	△ 2

ウ 財産形成セミナーを当センター主催で開催し、一般住民も参加可能とします。

事業名	実施予定年月	参加費（円）	募集人数（人）
終活セミナー	令和4年6月	無料	50

(2) 健康の維持増進に関する事業（定款第4条第1項第2号関係）

#### ①助成事業

##### ア 疾病予防支援事業

疾患の予防を支援するため、定期健康診断、人間ドック・脳ドック、インフルエンザ予防接種に助成します。

助成項目	助成額（円）	見込件数（件）	対前年度比（件）
定期健康診断	700	6,250	0
人間ドック・脳ドック受診	5,000	400	0
インフルエンザ予防接種	700～750	5,300	0
合計		11,950	0

##### イ スポーツ施設等利用事業

健康の維持増進を奨励するため、スポーツ施設の利用やスポーツスクールの受講に対し助成します。

助成項目	助成額（円）	見込件数（件）	対前年度比（件）
公共スポーツ施設利用回数券	500	1,310	0
金沢市営テニスコート	310	650	0
金沢プール	100	400	0
金沢勤労者プラザ体育館	120～150	70	0
サンライフ津幡	200	400	0
ゴルフ場プレー代	2,000	2,500	0
ゴルフ練習場プリペイドカード購入	800	1,800	200
スキー場1日リフト券	500～1,000	1,150	450
スポーツスクール受講	2,000	250	0
合計		8,530	650

②主催事業

ア 健康教室の開催

健康の維持増進とこころの健康をサポートするため、一般住民の参加者も含めた健康セミナーを開催します。

事業名	実施予定年月	参加費 (円)	募集人数 (人)
【新】笑顔のチカラセミナー	令和4年9月	無料	30
健康セミナー	令和4年11月	無料	25

(3) 自己啓発、余暇活動に関する事業 (定款第4条第1項第3号関係)

①助成事業

ア カルチャースクール受講促進事業

自己研鑽を奨励するため、カルチャースクールでの受講に対し助成します。

助成項目	助成額 (円)	見込件数(件)	対前年度比(件)
カルチャースクール受講	2,000	100	0

イ 余暇施設利用助成事業

余暇活動の充実を図るため、宿泊、飲食、レジャー、文化、小売店等各種施設との提携拡充を図るとともに、これらの施設の利用に対し助成します。また、北陸鉄道の「アイカ」の購入・積み増しに助成するほか、JRバスや近隣市町のコミュニティバス等の回数券・定期券購入にも助成します。

助成項目	助成額 (円)	見込件数(件)	対前年度比(件)
宿泊旅行	1,000~2,000	5,400	△ 150
【改】グルメ店	1,000~2,000	12,200	900
映画鑑賞	500~1,000	15,500	△ 5,200
文化施設	100~460	1,950	0
石川県県民ふれあい公社施設	200~560	8,650	0
日帰り温泉等入浴施設	40~460	16,480	0
プール・海の家	100~500	3,700	0
その他レジャー施設	100~500	2,960	50
バス回数券・アイカ購入積み増し	500	5,450	△ 50
福祉援助サービス	2,000	50	20
合計		72,340	△ 4,430

ウ 利用券等の割引斡旋事業

余暇活動の充実を図るため、パーキングチケット (香林坊・武蔵地区共通駐車場) や期間限定グルメチケットを販売するほか、年間を通してコンサート・映画・演劇・スポーツ観戦・日本海オセアンリーグ・J2リーグなどのチケットを販売します。

助成項目	割引率	見込件数(件)	対前年度比(件)
パーキングチケット	20~30%	420	△ 40
グルメチケット (秋)	20~40%	1,400	0
コンサートその他チケット	15~30%	1,800	0
【新】イオンシネマ全国共通前売券	35~40%	2,400	皆増
合計		6,020	2,360

エ バスツアーの斡旋

余暇活動の充実を図るため、提携旅行業者が実施するバスツアーを斡旋し、会員等に対して利用助成するとともに会員同伴による一般住民の参加者にも助成します。

助成項目	助成額（円）	見込件数（件）	対前年度比（件）
会員特選ツアー	会員・家族 1,500	450	0
	同伴者 500	80	0

②主催事業

ア 各種研修会開催事業

勤労者として必要なスキルの向上を目的とした各種社員研修を実施します。

事業名	実施予定年月	参加費（円）	募集人数（人）
新入社員研修	令和4年5月		30
社員研修（第1回）	令和4年8月	無料	24
〃（第2回）	令和5年2月		24

イ 各種教養講座の開催

自己啓発の場を提供するため、料理や工作等の知識・技術習得を目指す各種教養講座を開催します。

事業名	実施予定年月	参加費（円）	募集人数（人）
ハーバリウム教室	令和4年5月	1,000	24
夏休み親子プチアウトドア体験	令和4年8月	大人・小人 1,000 未就学児 500	40
園芸教室	令和4年11月	1,500	40
大根寿し教室（第1回）	令和4年12月	500	20
〃（第2回）			20
しめ飾り作り教室（第1回）	令和4年12月	1,000	20
〃（第2回）			20
味噌作り教室（第1回）	令和5年2月	500	20
〃（第2回）			20
ステンドグラス教室（第1回）	令和5年2月	1,000	15
〃（第2回）			15
クッキング教室	令和5年3月	2,000	20
合 計			274

ウ レクリエーション事業

勤労者等のゆとりある生活や勤労意欲を向上させるため、家族や友人、職場仲間等との交流や余暇活動の場として、各種交流会や、映画上映会を開催します。

事業名	実施予定年月	参加費（円）	募集人数（人）
夏休み親子地引き網体験	令和4年7月	500	100
映画上映会	令和4年8月	無料	320
巨峰狩りと古代の火起こし &ピザ焼き体験	令和4年9月	1,000	50
親子クリスマス会	令和4年12月	会員・家族 1,000 一般 1,500	40
合 計			510

(4) 情報提供事業（定款第4条第1項第4号関係）

会員等に事業内容の周知・紹介と事業への参加・利用を呼びかけるため、会報やガイドブックの発行、ホームページを通して各種情報提供を行います。

また、会員・家族以外も利用可能な事業を広報するため、金沢市広報やフェイスブックを活用します。

事業名	部数（冊）
会報「ゆとりんぐ」春号	13,000
"    夏号・秋号	各12,500
"    新年号	12,000
ガイドブック令和5年度版	13,500
く～ぽんBOOK令和5年度版	13,000
全福ネットガイドブック令和5年度版配布（会員事業所）	1,100

2 その他の事業（相互扶助等事業）（定款第5条関係）

(1) 慶弔見舞金給付事業

給付規程に定める事由に該当した場合、祝金、死亡弔慰金及び見舞金を支給します。

給付項目	給付額(円)	見込件数(件)	対前年度比(件)
結婚祝金	20,000	200	△ 25
出生祝金	10,000	309	△ 12
入学祝金（小学校）	10,000	329	△ 38
結婚記念祝金（25年）	10,000	155	△ 14
還暦祝金	10,000	217	△ 2
永年勤続祝金（10, 20, 30年）	10,000	639	-
祝金計		1,849	△ 91
会員の死亡（65歳未満）	100,000	7	△ 2
"    （65歳以上・不慮の事故による）	100,000	-	-
"    （65歳以上・疾病その他による）	50,000	7	1
配偶者の死亡	20,000	11	△ 1
子の死亡	20,000	8	1
親の死亡	10,000	379	△ 15
死亡弔慰金計		412	△ 16
障害見舞金（65歳未満・重度障害）	100,000	-	-
"    （65歳以上・" 不慮の事故による）	100,000	-	-
"    （65歳以上・" 疾病その他による）	50,000	-	-
"    （不慮の事故による障害）	4,000～90,000	-	-
傷病見舞金（休業14日以上30日未満）	10,000	79	-
"    （休業30日以上60日未満）	20,000	62	△ 3
"    （休業60日以上90日未満）	25,000	21	3
"    （休業90日以上120日未満）	40,000	14	1
"    （休業120日以上）	55,000	18	1
住宅火災等見舞金（50%以上）	100,000	-	-
"    （30%以上50%未満）	70,000	-	-
"    （20%以上30%未満）	50,000	-	-
"    （20%未満）	20,000	8	△ 1
住宅自然災害見舞金（70%以上）	30,000	-	-
"    （20%以上70%未満）	15,000	-	-
"    （20%未満）	3,000	-	-
"    （床上浸水）	6,000	-	-
見舞金計		202	1
合計		2,463	△ 106

## (2) 加入促進事業

### ① 広報活動の推進

センターの知名度を高め加入会員の拡大につなげるため、ホームページを情報発信の基点として活用し、多種多様な広報活動を引き続き実施します。

項 目	内 容
ホームページの活用	ホームページは、入会案内・事業概要説明などがわかりやすく掲載されており、また各種手続きなどがスマートフォンでも可能である旨の周知を徹底していきます。
ホームページバナー広告の相互掲載	提携関係団体と当センターのホームページにバナー広告を相互掲載します。
ノベルティグッズの活用	ノベルティグッズ（あぶらとり紙）を新規会員勧誘やセンターPR活動の際に配布します。
加入案内ダイレクトメールの送付	業種を絞り、対象事業所にノベルティグッズを同封して加入案内パンフレットを送付します。
イベント等への協賛	センターが立地する駅西地区の夏まつりに協賛し、プログラムに広告を掲載します。

### ② 職員による事業所訪問

問合せや役員等の紹介等があった事業所や団体に対しては、センター入会によるメリットを理解してもらうため、職員が積極的に出向き説明するなど、新規事業所の獲得に努めます。なお、加入推進員は新型コロナ感染拡大の影響により活動が大きく制約される状況が続いていることから、当面設置しないこととします。

### ③ 会員による紹介制度の活用

会報に会員紹介制度を掲載し、新規事業所の紹介を募り、紹介報奨金制度を引き続き活用します。

### ④ 近隣自治体や商工会・商工会議所等への協力依頼

近隣自治体の商工担当部門や商工会・商工会議所、関係各団体と連携を深め、会員の増加に努めます。